

2021(令和3)年度 全国公立高等学校
海外修学旅行・海外研修(修学旅行外)実施状況調査報告

2021(令和 3)年度

コロナ禍と修学旅行

—新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が与えた修学旅行への影響 Vol. 2—

【2021・令和3年度 全国公立高等学校・中学校修学旅行実施状況調査の報告】

付表 2022(令和4)年度 全国都道府県・政令指定都市修学旅行(海外・国内)
実施基準概要

- 資料
1. 旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく
国内修学旅行の手引き <一般社団法人 日本旅行業協会>
 2. 旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく
海外教育旅行の手引き <一般社団法人 日本旅行業協会>
 3. 海外教育旅行のすすめ ～再開・回復に向けて～ 2022 <観光庁>

2023(令和5)年 2月発行

公益財団法人 全国修学旅行研究協会

新型コロナウイルス感染症と修学旅行 vol.2

— 2021（令和3）年度の修学旅行の実施状況—

公益財団法人 全国修学旅行研究協会
理事長 岩瀬 正司

新型コロナウイルス感染症は、完全収束にはまだまだ至りませんがその猛威も緩和され、我が国では本年5月頃より感染症法上の分類が「2類」から「5類」へと変更されるという報道もあります。いよいよ「ウイズ・コロナ」の時代が本格化してくる時を迎えることとなりますが、この足掛け3年間は、「コロナに振り回された」と言っても過言ではないでしょう。

当協会では、20年前より主として高等学校の海外修学旅行の実態調査をほぼ悉皆で行い、様々な資料の提供を行うことによって海外修学旅行実施の一助にさせていただいていました。しかし、3年前の2020（令和2）年は、コロナ禍により海外修学旅行は全面的に中止にせざるを得ない状況になりました。そこで、昨年度の本調査は視点を変えて、「コロナ禍における修学旅行」全体の調査を実施したところ、奇しくも、2020（令和2）年度の海外修学旅行は皆無となったものの、その反面として、中学校・高等学校の修学旅行の実態を明らかにすることができました。

本年度の調査は、流行の大きな波に翻弄されながらも小康状態になってきた2021（令和3）年度の実態についての調査です。海外修学旅行の復活がまだまだ見えない中にありますので、一昨年度の続編として再び日本全体の中学校・高等学校の修学旅行の実態を対象としました。コロナ禍以前の通常期、コロナ禍の直撃期（2020・令2）、そして、やや落ち着きも出てきた小康期（2021・令3）の比較も興味のあるところですよ。

コロナ禍における修学旅行についての実態を正確に調査・把握し記録しておくことは非常に大切なことです。そのため、従前は高等学校の海外修学旅行を中心とした本調査ですが、本年度も昨年度に引き続いての続編としました。

コロナ禍の異常事態は、前述したように収束する方向へ向かってはいると思います。しかし、この間、修学旅行の意義や教育的効果が再認識されると同時に、その在り方を問う声も起こっています。当協会のこの冊子を有効活用していただき、今後の修学旅行そのものについて考える一助になれば、それに優る喜びはありません。

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の方法と内容	1
2.	集計方法	1
3.	2021(令和3)年度 全国高等学校・中学校の概要	1
II	2021(令和3)年度 全国公立高等学校・中学校修学旅行実施状況	2
1.	高等学校	2
(1)	実施校数・実施率/参加生徒数・参加率	2
(2)	都道府県別実施状況	2
2.	中学校	4
(1)	実施校数・実施率/参加生徒数・参加率	4
(2)	都道府県別実施状況	4
III	2021(令和3)年度 全国公立高等学校の修学旅行方面別実施状況	6
1.	公立高等学校	6
(1)	実施校数	6
(2)	参加生徒数	8
(3)	都道府県別旅行方面の変容(コロナ前からコロナ禍2年目までの変化)	10
2.	私立高等学校	26
(1)	実施校数	26
(2)	参加生徒数	28
(3)	都道府県別旅行方面の変容(コロナ禍2年目の変化)	30
IV	2021(令和3)年度 全国公立中学校の修学旅行方面別実施状況	40
1.	公立中学校	40
(1)	実施校数	40
(2)	参加生徒数	42
(3)	都道府県別旅行方面の変容(コロナ前からコロナ禍2年目までの変化)	44
2.	私立中学校	60
(1)	実施校数	60
(2)	参加生徒数	62
(3)	都道府県別旅行方面の変容(コロナ禍2年目の変化)	64
V	2021(令和3)年度 国内航空機利用修学旅行の実施状況	74
VI	海外教育旅行情報	83
(1)	2022(令和4)年度 公立高等学校 海外修学旅行実施予定校数・生徒数	83
(2)	海外教育旅行実施に向けた各校の考え方(抜粋)	84
<付 表>		
	2022(令和4)年度 全国都道府県・政令指定都市修学旅行実施基準概要	85
<資 料>		
1.	旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく 国内修学旅行の手引き(第6版)<一般社団法人 日本旅行業協会>	105
2.	旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく 海外教育旅行の手引き(第3版)<一般社団法人 日本旅行業協会>	112
3.	海外教育旅行のすすめ ~再開・回復に向けて~ 2022<観光庁>	124
<編集後記>	(公益財団法人 全国修学旅行研究協会 調査部)	

I 調査の概要

1. 調査の方法と内容

各都道府県並びに政令指定都市教育委員会、各都道府県私立学校担当部署に、所管する高等学校、中学校の修学旅行の実施状況等について調査を依頼し、以下のとおりまとめた。

なお、一部実施状況ならびに実施内容を把握できていない箇所については、本協会でも独自調査を行った。愛知県の私立学校に関しては、愛知県私立中学高等学校協会の協力を得た。

- (1) 調査の期日 2022(令和4)年5月1日現在
- (2) 調査対象 各都道府県並びに政令指定都市教育委員会、各都道府県私立学校所管部署
- (3) 調査内容
 - イ. 2021(令和3)年度修学旅行方面別実施状況(校数・実施率、参加生徒数・参加率)
 - ロ. 2021(令和3)年度国内航空機利用修学旅行の実施状況
 - ハ. 2022(令和4)年度海外修学旅行実施予定状況
 - ニ. 2022(令和4)年度修学旅行実施基準
 - ホ. 資料(国内修学旅行・海外教育旅行の手引き、海外教育旅行のすすめ)

2. 集計方法

- データは各都道府県並びに政令指定都市教育委員会、各都道府県私立学校所管部署からのデータを集計し、一部本協会の調査データを加えた。
- 方面別実施状況は、クラス別・班別及び課程別での実施や複数方面にまたがる場合も1校として集計のため、設置校数・生徒数と一致しない。
県によって人数のデータが把握ができていないところは、文部科学省学校基本調査のデータを基に参考数値として集計した。
- 私立校の、修学旅行方面別実施状況調査は、前年度同様、所管部署の「把握できている範囲」での回答と、本協会独自調査によるデータを合わせ、極力実態に近い数値となるようにした。

3. 2021(令和3)年度 全国高等学校・中学校の概要

[高等学校]

- 学校数は4,856校(本校4,767校、分校89校)で、前年度より18校減少(本校16減、分校2減)している。
 - ・ 公立の学校数は3,521校で、前年度より16校減少(本校14減、分校2減)している。
 - ・ 国立の学校数は15校で、前年度と同数である。
 - ・ 私立の学校数は1,320校で、前年度より2校減少している。
 生徒数は約300万8千人で前年度より約8万3千人減少している。(中等教育学校を含むと約302万人)
- 中等教育学校数は56校(国立4校、公立34校、私立18校)。公立1校増、私立1校減で、前年度と同数である。
- 修学旅行対象学年(全日制2年、定時制3年、専科、別科、中等教育後期課程)の生徒数は、約100万9千人で前年度より約2万3千人減少している。

[中学校]

- 学校数は10,076校(本校9,997校、分校79校)で、前年度より66校減少(本校66減)している。
 - ・ 公立の学校数は9,230校で、前年度より61校減少している。
 - ・ 国立の学校数は68校で、前年度より1校減少している。
 - ・ 私立の学校数は778校で、前年度より4校減少している。
 生徒数は約323万人で前年度より約18,000人増加している。
- 修学旅行対象学年(3年生基準)の生徒数は、約107万8千人で前年度より約2万7千人増加している。

(資料：令和3年度文部科学省学校基本調査)

<編集後記>

『2021（令和3）年度 コロナ禍と修学旅行』発刊にあたり

昨年度、新型コロナウイルス感染症により多大な影響を受けた修学旅行の全国実態調査を実施し、「2020（令和2）年度 コロナ禍と修学旅行 ―新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が与えた修学旅行への影響―」を発表いたしました。修学旅行の度重なる延期、旅行方面の変更…そして中止と、苦渋の選択をした学校が全国に数多くありました。高校生約62万人、中学生約43万人の生徒たちが修学旅行の機会を失いました。

そして今年度、その「Vol.2」を発表することは謂わばパニック状態であったコロナ禍1年目を乗り越えた経験と新たな修学旅行への取り組みをお伝えするものであります。

◆2021（令和3）年度、修学旅行の「中止」は明らかに減少しました。

新型コロナウイルス感染症は、2021（令和3）年度も収束することなく、様々な変異を繰り返し予断の許さない状況が続きましたが、家庭、学校での徹底した感染予防対策、修学旅行実施においての受入れ側（自治体、宿泊施設、観光施設、輸送機関等）の体制整備、旅行業界の情報提供と細やかな対応により、安全安心を確保し実施の方向に向かいました。教育現場の先生方、修学旅行受入関係者、旅行会社等全ての皆様のご努力に敬意を表します。

◆修学旅行の旅行先、形態、内容は完全にはコロナ前の状態に戻っていません。

2021（令和3）年度も修学旅行実施にあたっては、基本的な感染予防対策として、①長時間・長距離の移動を避ける②旅行期間の短縮③密回避が留意されました。地元完結或いは、近隣での実施、3泊4日の旅行期間を、2泊や1泊若しくは日帰りに変更、公共機関を利用せず、貸切バス等で移動し、極力人との接触を避ける等の対策を行った上での実施という調査結果となっています。

しかし、学校のホームページの「学校だより」等を見ると、行先や形は変わっても「修学旅行に行けた！」という生徒たちの喜びに溢れた文章で埋め尽くされています。修学旅行実施の意義は、そこに集約されているのではないのでしょうか。

2022（令和4）年度も、コロナ禍は続いています。もちろん油断は出来ませんが、既に「With コロナ」前提での修学旅行実施のステージにきています。平常な生活を取り戻しつつ修学旅行も進化していくことを確信しています。海外修学旅行の回復も視野に入れ、次年度の本調査に取り組んでまいります。

最後に、本調査にご協力をいただいた、各都道府県並びに政令指定都市教育委員会、各都道府県私立学校担当部署の皆様方に心より感謝申し上げます。

※本調査は「全国公私立高等学校 海外修学旅行・海外研修実施状況調査」の特別版として作成しています。

（公益財団法人 全国修学旅行研究協会 調査部 石原輝紀）

本報告書のデータは、公益財団法人 全国修学旅行研究協会の公式ホームページ
【修学旅行ドットコム (<http://shugakuryoko.com/>)】内の、「調査・研究活動」
ページに、PDF形式で全て掲載しております。

本報告書は毎年（2000年分より）ホームページ上に掲載しており、最新版は後日
の掲載となります。（最新版の掲載時期は2月下旬を予定）

本報告書とは別に、中学校の調査については、別途、下記三地区の公立中学校の
修学旅行委員会で実施しているアンケートを集約した「修学旅行の実施状況調査」
等として同ホームページ内に掲載しております。

- ・ 関東地区公立中学校修学旅行委員会
（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県）
- ・ 東海三県中学校修学旅行委員会
（愛知県、岐阜県、三重県）
- ・ 近畿中学校長会修学旅行専門委員会
（滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県）

[QRコード]



右記QRコードは、修学旅行ドットコムのトップページへリンクしております。
スマートフォン専用ページではありません。

2021(令和3)年度 全国公立高等学校海外修学旅行・海外研修(修学旅行外)実施状況調査報告

2021(令和3)年度 コロナ禍と修学旅行

—新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が与えた修学旅行への影響 Vol. 2—

【2021・令和3年度 全国公立高等学校・中学校修学旅行実施状況調査の報告】

付 2022(令和4)年度 全国都道府県・政令指定都市修学旅行実施基準概要

2023(令和5)年2月

発行 公益財団法人 全国修学旅行研究協会
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-6-8 九段南ビル6F
TEL 03-5275-6651 / FAX 03-5275-6653
E-mail shuryo@h2.dion.ne.jp
URL <http://shugakuryoko.com/> (修学旅行ドットコム)